

子供たちにとって、質の高い、魅力のある教育活動の展開

授業

を磨く

- 子供と向かい合う
- 教材研究に取り組む
- 本を読む、情報を集める など

プロ意識

専門性

感性

を磨く

- 趣味に没頭する
- 多様な体験をする
- 大切な人と過ごす など

人間性

創造性



保護者、地域一体となって

その時間を生み出そう！



その時間を生み出すために

みんなで知恵を出し合って！

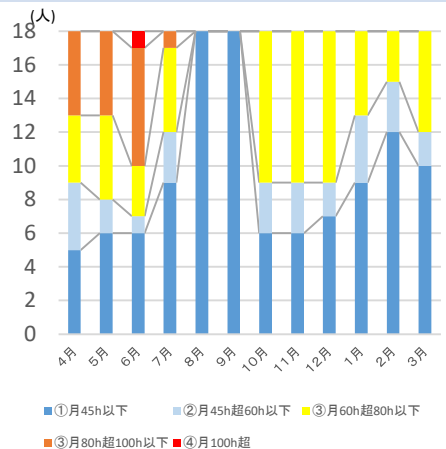
様々な取組の総力戦で

現状と主な課題

主な取組

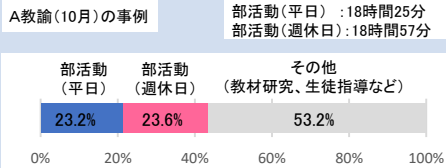
R3超過在校等時間 月別人数

R4.3更新



超過在校等時間における業務内容

超過在校等時間 : 78時間52分
部活動(平日) : 18時間25分
部活動(週休日) : 18時間57分



教職員の意識

- ✓ 働き方改革の目的や考え方等の理解

- 働き方改革通信「リフレッシュ!!」の配信、活用
- 働き方改革PJチームによる検討

保護者、地域の理解

- ✓ 教員の働き方改革への理解

- 学校の働き方改革推進に向けた考え方等についての説明
 - ・学校ホームページや学校だより等への掲載
 - ・授業参観、懇談会、学校評議員会等での説明

勤務時間の自己分析

- ✓ 勤務時間の把握、自己分析、改善

- 勤務時間管理システムを活用した客観的な勤務時間の管理
 - ・バーコードの読み取りによる打刻、時間表示
- 勤務時間「個票」による確認(半月、月末)
- 「超過勤務時間削減シミュレーションシート」の活用

部活動改革

- ✓ 不完全な「複数顧問制による単独指導」
 - ・1人の顧問が中心
 - ・複数の部活動を受け持つ
- ✓ 超過勤務時間の40～50%を占める。

- 完全な「複数顧問制による単独指導」体制整備
- 適正な部活動数を踏まえた、部活動の統廃合
- 担当同士の間での共通理解と均等な指導分担
- 練習時間の徹底、明確な練習メニューの作成
- 休養日の増設
- オフシーズンの設定
- 参加大会の厳選
- 地域移行への検討

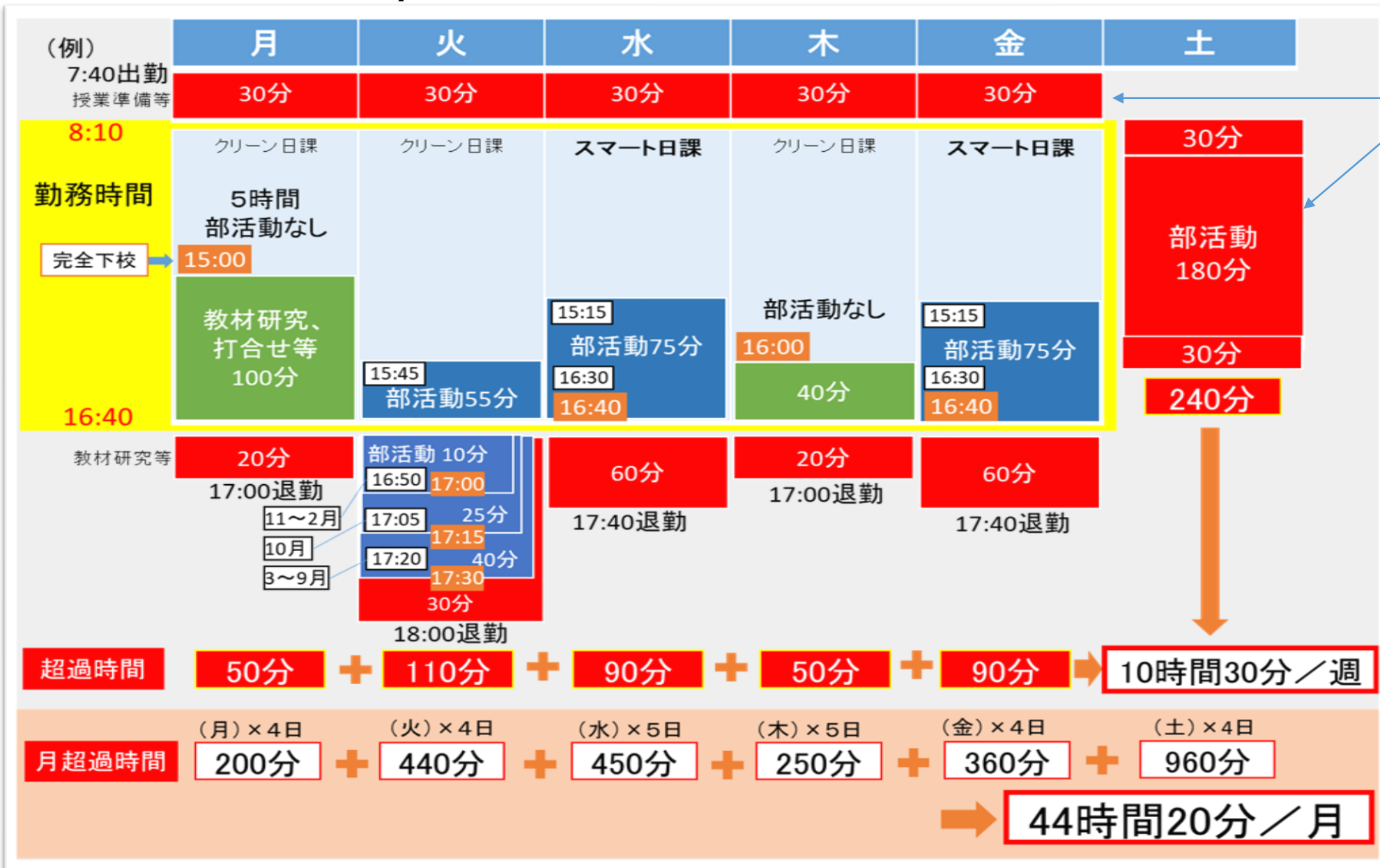
校務の効率化

- ✓ 電子化の推進
- ✓ 日課の工夫改善
- ✓ 業務内容の偏りや重複の解消

- 会議のペーパーレス化、モニター表示による連絡
- 日課の見直し、定時退勤日の設定
- 適正かつ効率的な業務分担
- 校務分掌の適正化、スマート化
- スクール・サポート・スタッフの活用



超過勤務時間45h以内/月の働き方シミュレーション



超過在校等時間

分

超えてしまった場合は、
どこかで削減する工夫を

「できない」



「どうすれば、
できるようになるか」

